

科目名 Course Title	大学院共通授業科目(教育プログラム): 新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム		
講義題目 Subtitle	グローバル発展科目 I		
責任教員 Instructor	谷 博文 [TANI Hirofumi] (大学院工学研究院)		
担当教員 Other Instructors	ホイットフィールド デール リー [WHITFIELD Dale Lee] (高等教育推進機構)		
	サウナワーラ ユハ [JUHA Saunavaara] (北極域研究センター)		
科目種別 Course Type	大学院共通授業科目	他学部履修等の可否 Open To Other Faculties / Schools	可
開講年度 Year	2025	期間 Semester	1 学期(春ターム)
授業形態 Type of Class	演習	単位数 Number of Credits	2
対象学科・クラス Eligible Department / Class	-	対象年次 Year of Eligible Students	-
時間割番号 Course Number	101236	補足事項 Other Information	-
ナンバリングコード Numbering Code		IGS_IDS 9211	
大分類コード・名称 Major Category Code / Title		IGS_IDS・大学院共通授業科目(複合領域)	
レベルコード・レベル Level Code / Level		9・その他(海外への留学を内容とするものなど, レベル分けが出来ない科目)	
中分類コード・名称 Middle Category Code / Title		2・キャリアマネジメント	
小分類コード・名称 Small Category Code / Title		1・キャリア開発	
言語 Language Type		英語で行う授業	
実務経験のある教員等による授業科目 Course list by the instructor with practical experiences		-	
キーワード Key Words			
課題解決, プロジェクトマネジメント, 「3+1 の力」(能力更新力, 組織形成力, 社会還元力および専門職倫理), リーダーシップ, コミュニケーション, チームビルディング, ファシリテーション, クリエイティブシンキング, クリティカルシンキング, プレゼンテーション, フィールドワーク, アントレプレナーシップ			
授業の目標 Course Objectives			
この科目では, 新渡戸カレッジの「3+1 の力」(能力更新力, 組織形成力, 社会還元力および専門職倫理)を身に付けることにより, グローバル化する世界で成功するために必要不可欠なリーダーシップ, チームワーク, コミュニケーションスキルを身につけることを目標としている。本科目では創造的かつ批判的な思考を実践し, 目標を設定し, 計画を立て, 課題に適応する力を養い(能力更新力)。チームを形成し, 議論し, 共通の目標を達成するために協働し(組織形成力), 異文化コミュニケーションや課題解決に取り組むことで, 知識を共有し, 社会に還元する解決策を学ぶ(社会還元力)。さらに, 異なる文化や視点を尊重しながら, 公平かつ公正な決断を下す能力を学ぶ(専門職倫理)。			
到達目標 Course Goals			
・具体的な課題の解決に向けた生産的協働のためのチームマネジメント(役割の明確と実践)ができる。 ・提示された課題に対して, 先行事例, 類似事例に関する適切な二次資料の収集および課題の背景とコンテキストに照らした批判的な比較分析ができる。 ・解決策の提案に必要な調査・分析手順を設計し, それに伴う時間管理ができる。 ・得られたデータや情報とそれらの論理的解釈に基づいた説得力のあるプレゼンテーションができる。 ・アントレプレナーシップ(起業家精神)について理解を深めることができる。			
授業計画 Course Schedule			
本科目では, 課題として, 持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals, SDGs)をはじめ一般的かつ分野横断的な社会問題が提示される。必要に応じて, データ収集・分析など調査・研究手法や, それに伴う倫理的責務等について講義する。学生はチームでプロジェクトを行い, 課題解決案を提案する。			

【プロジェクト】

- ・担当教員から具体的な話題や先行事例を提供する。また、必要に応じて、さまざまな分野に精通した外部講師を北海道大学内外から招き、取り組む課題、先行事例の提供を求める。
- ・学生は、課題に即した適切なデータを収集・分析し、異なる専門性の相関から独創的で実行可能な解決策の提案を目指す。
- ・この目標に向けて、プロジェクトマネジメントの知識とスキルを活用し、ガントチャート、役割分担を明確化するとともに、スケジュールリングと時間管理を通して、最終プレゼンテーションまでの作業行程を俯瞰的に捉え、効率的に協働を進めるための計画を立て、実行する。
- ・必要に応じて調査の手法（インタビュー、アンケートなど）を選択し、立案した計画に基づき、調査を行う。学生は授業に出席して協働に参加するだけでなく、事前調査やレジュメの作成など様々な形でチームに貢献する。資料や進捗状況は新渡戸ポートフォリオ (NPF) で記録・共有する。
- ・立案した解決策について、どのように実現可能なプロジェクトとして社会に還元できるか、ビジネスプラン等の検討を通して考える。また、必要に応じて、起業家を外部講師として招き、起業家精神や起業の意義、方法について講演をしていただく。

【プレゼンテーション】

- ・与えられた課題に対する調査結果や結論の口頭発表を行う。説得力のあるプレゼンテーションに向けてスライドのデザインや口頭発表の設計と練習を行う。チームで到達した結論を順序立てて説明し、聴衆が理解しやすい発表を目指す。
- ・プログラムの学修成果の還元の一環として、プロジェクト成果発表を学内外、関連するステークホルダーに開かれた形で実施する。

【省察と今後の学修目標】

ターム全体を振り返り、学修できたこと・できなかったことを明確化する。取り組んできた課題に対して、どこまで解決できたのか、何が未解決として残るのか、新しく見えてきた課題は何かを考察する。また解決策は、どのような社会的価値を提供できるのか、今後に向けて考察を加える。

2025 年度の授業スケジュールは以下の通りである。

2025/4/19 土曜; 新渡戸カレッジ入校式および初回授業

2025/4/23～6/4 の毎週水曜, 5 限 6 限

準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

毎授業後、新渡戸ポートフォリオ (NPF) を通じて学習の成果、授業内容についてのコメントおよび自己評価の提出が求められる。

成績評価の基準と方法 Grading System

授業への積極的参加とチーム学習への貢献、プロジェクトの発表、学修記録と自己分析、授業内容へのコメント、「3+1 の力」の自己評価、ターム終了後に学修成果を自ら認識し、将来の学修目標の見直し・再設定するために提出が求められる final Self-evaluation Report が評価対象となる。その他、必要に応じて評価に関わる課題が追加された場合は、随時説明がある。

テキスト・教科書 Textbooks

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

講義指定図書 Reading List

必要に応じて指示する。

Supplementary materials are instructed or provided when necessary.

参照ホームページ Websites

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>, <https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/en/>

研究室のホームページ Websites of Laboratory

特記事項なし

備考 Additional Information

本科目は、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムの主要科目の一つであり、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムで提供している。受講には同カリキュラムへの入校を認められた者であることが前提条件となる。

新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラムに入校についての詳細は、新渡戸カレッジのウェブサイトで確認できます:
<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/gs-curriculum/g-guidelines-for-applicants>

本科目に関する問い合わせ先: nitobecollegegraduates@high.hokudai.ac.jp